



未来を担う青年部会

～強固な絆が支える地域貢献～

湯浅納税協会
会長 木本 佳孝

自己紹介

木本 佳孝

納税協会連合会青年部会連絡協議会 初代会長
第1回納税協会青年の集い和歌山大会（平成20年11月）を開催

2005納税協会フォーラム 出演（NHKホール）

第1回納税協会青年の集い 和歌山大会の様子

第1部 青年部フォーラム

- 青年部会員へのアンケートを分析したうえで、
- 各府県の代表者が
- 中小企業の置かれた現状をリアルに語ります。

◆コーディネーター

上野 祐子
 (株)マーケティングダイ
 マーケティング企画・執
 拓を専門に、国や自治体
 振興、経済産業省、JET
 整備機構、兵庫県、大阪市
 兼任。国立大学法人奈良女
 子大学「地域マーケティングへの挑戦」(まち)活性化

◆パネリスト

三木 幸男
 大阪市ブロック青年部会連絡協議会会長
 (株)三木商店 代表取締役社長
 バイヤー継ぎ手の卸問屋、二代目社長。旧態
 依然とした社内体制改革の必要性を痛感し「90
 度ではなく180度の発想転換が必要」との考えで、
 番頭の職場移動、新分野の開発を断行し、売上
 占有率3割をめざす。顧客満足の追求を共有目標に社員モチベーシ
 ョンアップと取扱品目拡大、正確・スピーディー・親切の3S実現に取り組む。

寺田 弘和
 京都ブロック青年部会連絡協議会会長
 (株)八光館 店主
 風光明媚な桂川上流の川辺に料理屋を
 規模は丹波一。2年前の火事が転機とな
 建物を新築後再オープン。各宴会場にはミ
 剪を併設し「揚げたての天麩羅が味わえる」
 好評。ガラス張りの窓から見える眺望とともに差異化の特色となっている
 「老舗でも常に改革がなければお客様はついてきてくれない」が信条。

柳本 一郎
 芦屋納税協会副会長兼青年部会長
 マルヤナギ(株)小倉屋柳本 代表取締役社長
 安全で高品質のモノ造りに力を注ぎ、全国の
 量販店や百貨店、コンビニ、総菜メーカー、外食
 産業など、戦略的に取組を拡大。「社長は従業員
 員を家族の如く思い、夢や希望を共有できる企
 業となる」を信条に、各人が心を高め、持てる力を存分に発揮できる風
 土造りをめざす。市場環境の変化に対応し、提案型営業を推進中。

浅田 錦治
 奈良県青年部会連絡協議会会長、浅田木材(株)・
 (株)ワイエー企画(株)マイクロアイ 代表取締役
 住宅木材に依存せず情報関連分野へ進出し、
 事業拡大。「今や企業のライフサイクルは20~
 10年時代へと短い。市場が何を欲しているか、
 売れる個が含まなければならない時代」との考
 えから情報関連を業とするワイエー企画に全精力をつぎ込む。ソフト開
 発の会社マイクロアイでは「アイコン」など数々のヒット商品を開発。

木本 佳孝
 和歌山県青年部会連絡協議会会長
 木本産業(株) 代表取締役社長
 LNG、LPG、石油等の備蓄タンク及びコンビ
 アの製造・工事、介護関係事業を昨年スタート。
 先代を継いで78年目。LNGタンクの建設を担っ
 てきた同僚の世代から30代社員への特殊技術の
 継承は困難。3K、5K職種で、人集みに悩みがあるが、保障や資格取得の
 奨励、仕事の達成感など魅力づけに力を注ぎ、地元への貢献も重要。

棚橋 勝道
 滋賀県青年部会連絡協議会会長
 (株)棚橋食品 代表取締役
 明治42年創業の豆腐製造業、大手量販店1号
 店からの取引で事業拡大。現在の売上構成は量
 販店と直営店が3対1の割合。ディスカウンター
 の台頭による価格競争や食の多様化への危機
 感から「末端消費者のニーズを反映でき、作り手の思いの伝わる商品開
 発と、販路の多チャンネル化」をめざす。このための人材育成が悩みの種。



和歌山県青連協のメンバーが
紀州雑賀衆に扮して歓迎



勝浦産マグロの解体ショー

湯浅納税協会

管轄エリア：1市3町
有田市・湯浅町・広川町・有田川町
人口：約65,000人



エリア内稼働法人数	1,160社（76位/83協会）
法人会員数	424社（66位/83協会）
加入率	36.6%（5位/83協会）
青年部会 会員数	137名（1位/83協会）

青年部会が 湯浅納税協会のエンジン

- 租税教室やイベントなど青年部会が中心となって活動
- 支部研修会の実施
 - 6支部体制で地域密着型の研修会を開催
 - 役員、代議員以外にも、税務署幹部クラスの方も参加可能で、新入会員も気軽に足を運べるため支部長・役員が知人に積極的に参加要請を実施
- 世代交代のサイクル
 - 現在の親会役員の大半が青年部会役員経験者

青年部会役員

親会役員

この仕組みが
「組織としての連携」を生む源泉



連携がもたらす地域貢献

青年部会と親会の連携による事業の取組

- 親会の支援のもと、青年部会は活発に活動
- 若手経営者が地域社会と深く関わる機会を創出

具体的事例：中学生の「税についての作文」
(有田納税貯蓄組合連合会と共同で取組)

- 高い応募率

生徒数応募割合

	令和5年	令和6年度	令和7年度
湯浅	90.9% (1位/83協会)	91.5% (1位/83協会)	79.3% (1位/83協会)
御坊	90.4% (2位/83協会)	87.7% (2位/83協会)	78.5% (2位/83協会)

- 役割分担による青年部会と親会の連携

期限内収納率 (件数)

令和6年度 湯浅 (1位/83協会)
御坊 (2位/83協会)



まとめ

- 会員減少への危機意識を全体で対応
- 青年部会会員数が増えることで
納税協会活動を活性化させる
- 小学生への「租税教室」から、中学生の「税の作文」へ。
子どもたちが税に触れる時間を、親会と青年部会が一体となって作り上げる。
これこそが、私たちの地域貢献の連携です。



ご清聴ありがとうございました
